

三木市記者発表資料 (令和4年12月6日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
総合政策部 縁結び課 教育振興部 教育・保育課	課長 成瀬拓生 (内線 2382) 課長 仲谷 淳 (内線 3541)	地方創生係  指導係	0794-89-2303 (内線 2484)

タイトル
<p align="center"><b>デジタル技術を活用し、「送迎用バス置き去り防止」にチャレンジ 三木市保育協会×エヴィクサー株式会社</b></p>
内容
<p>このたび、三木市では、2019年に連携協定を締結した株式会社官民連携事業研究所との協働事業として、エヴィクサー株式会社が有する技術を活用し、「送迎用バスの置き去り防止」に係る実証事業を行います。</p> <p>子どもたちの安全・安心を守る三木市保育協会及び市内でバス送迎を行う園の協力により実施します。</p> <p><b>●内容</b></p> <p>(1) <b>日時</b>           12月15日(木)～2カ月間程度</p> <p>(2) <b>協力園</b>       いずみ認定こども園、あけぼの認定こども園</p> <p>(3) <b>目的</b></p> <p>送迎用バスの置き去り防止に向け、デジタル技術を活用することで園児の安全・安心の確保に加え、リアルタイムに確認通知メールが園に届くことによる安心感や、デジタルログを残すことで点検+報告を同時にワンストップで行い、保育園側の負担軽減を図ります。</p> <p>(4) <b>仕組み</b></p> <p>運転手やスタッフによるバス車内の見回りの際に、スマホで壁面に貼られた複数の「QRコード」シールを読み取ることで、車内を確認したことが、リアルタイムに園関係者等に通知できる仕組みです。</p>

セールスポイント
<p>民間事業者との連携協定締結により、地域課題解決に向けた様々な事業が実証実験というスモールスタートで着実に進められています。今回の取組は、日々、保育現場を支える保育協会と連携し、社会的課題に対しデジタル技術を活用することで、費用や負担を抑え、「園児の安全」、「保護者の安心」、「園の負担軽減」の三方を解決できるとの仮説から実施するものです。引き続き、様々な課題に対し、考え、解決に向けたチャレンジを公民連携で推進します。</p>